

第6次草津市総合計画基本構想（案）

タウンミーティング



総合計画

市政運営の最上位の計画

総合計画は「草津市自治体基本条例」に基づいて策定され、

“総合的かつ計画的なまちづくりの指針”として、本市の最上位計画に位置付けられています。

また、市民ニーズを的確に受け止め、自ら考え行動するといった自律性をもって市政運営に取り組んでいくため、市民の参加を得た計画の策定を行います。

【草津市自治体基本条例】（抜粋）

第13条 市は、市政運営の最上位の計画として市民の参加を得て総合計画を策定し、総合的かつ計画的に市政を運営しなければならない。

計画の構成と期間

【2】

総合計画は、「基本構想」と「基本計画」からなる二層構造となっています。

基本構想

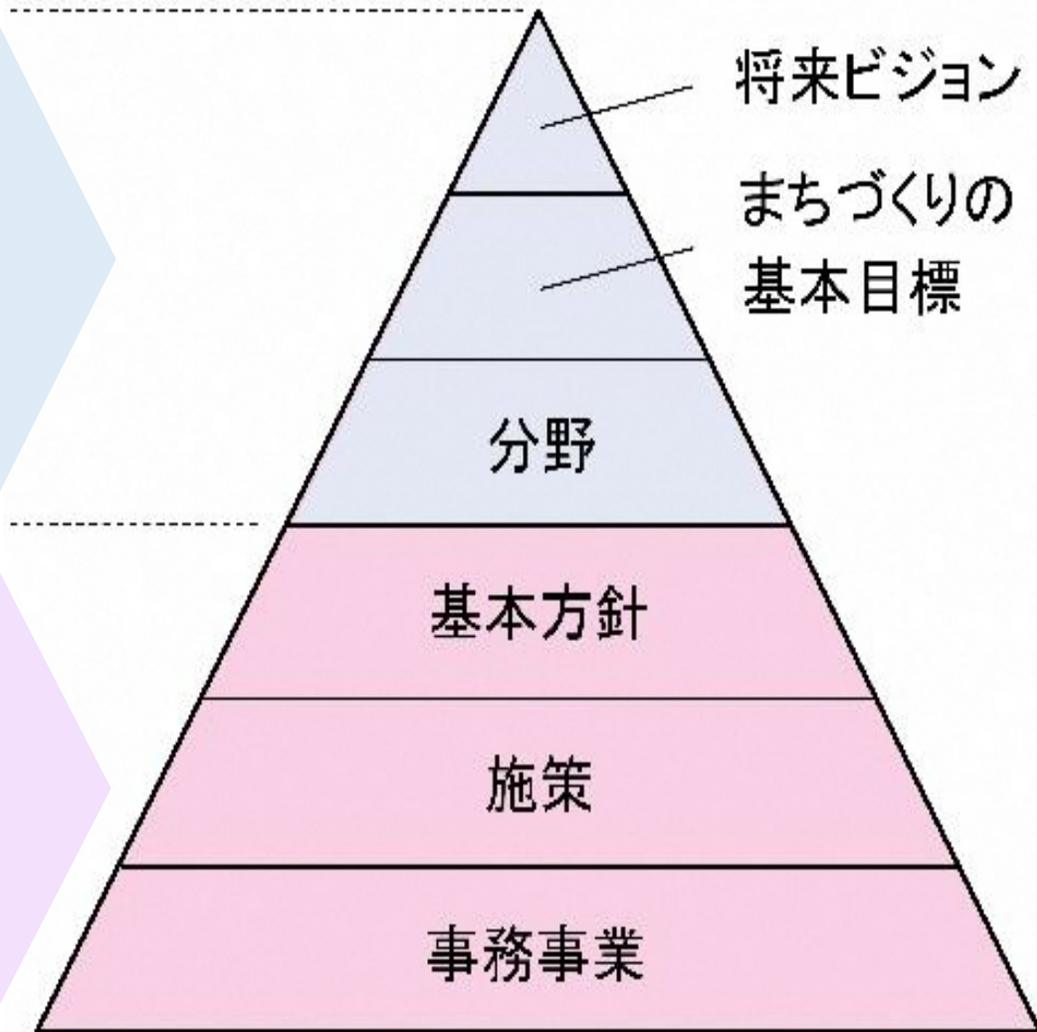
令和3(2021)年度から
令和14(2032)年度まで
の12年間

本市の目指すべき将来ビジョンを示し、その実現に向けたまちづくりの基本目標などを明らかにし、基本計画の方向づけを行うものです。

基本計画

1期4年の3期計画

基本構想に掲げる将来ビジョン、まちづくりの基本目標に基づき、各分野・基本方針の主要な施策、達成すべき目標や指標などを明らかにするものです。
なお、計画期間は、1期4年の3期計画としています。



草津市～これまでのまちづくりの歩み～

【3】

草津市誕生

昭和29年10月

- 草津町・志津村・老上村・山田村・笠縫村・常盤村が合併
- 人口 32,152人

～主な出来事～

- 昭和31年9月 栗東町から渋川地区を編入
- 昭和42年4月 国鉄草津駅（現駅舎）完成
- 昭和42年5月 草津市民憲章制定
- 昭和44年4月 第1回草津宿場まつり開催



第1次草津市総合開発計画 「調和のとれた10万都市づくり」

昭和45(1970)～55(1980)年度

- (1) 市民のための市制を高めるために
- (2) さわやかな明るいまちづくりのために
- (3) 教育と文化を高めるために
- (4) 豊かな近代都市づくりのために

～主な出来事～

- 昭和46年8月 人口5万人突破
- 昭和48年7月 学校給食センター完成
- 昭和52年8月 人口7万人突破
- 昭和53年4月 市の一般会計が100億円を超える
- 昭和56年1月 市の木「キンモクセイ」、市の花「アオバナ」制定



第2次草津市総合開発計画 「活力ある調和のとれた 市民都市をめざして」

昭和56(1981)～平成2(1990)年度

- (1) 人間性を尊重するまち
- (2) 自然の美しさと生活環境を大切に
するまち
- (3) 歴史と伝統を大切にするまち
- (4) 活力を創造するまち

～主な出来事～

- 昭和56年8月 草津市総合体育館開館
- 昭和57年2月 コミュニティ防災センター
完成
- 昭和57年3月 人口8万人突破
- 昭和57年10月 香川県観音寺市と姉妹提携
- 昭和58年7月 市立図書館開館
- 昭和60年12月 草津市シルバー人材
センター設立
- 昭和63年7月 人口9万人突破、
ロク八公園プール完成
- 昭和63年10月 「ゆたかな草津 人権と
平和を守る都市宣言」決議

草津市～これまでのまちづくりの歩み～

第3次草津市総合計画

「活力と魅力あふれる
生活文化創造のまち」

平成3(1991)～10(1998)年度

- (1) 人にやさしい生涯健康のまち
- (2) 感性に満ちた草津人のまち
- (3) 人が輝き、安心して暮らせるまち
- (4) 豊かな活力を実感できるまち
- (5) 快適な都市環境を創造するまち

～主な出来事～

- 平成4年5月 新庁舎で業務開始
平成6年4月 立命館大学びわこ・くさつ
キャンパス開学
平成6年9月 J R南草津駅開業
長寿の郷「ロクハ荘」開館
平成7年6月 人口10万人突破
平成8年4月 史跡草津宿本陣 一般公開
平成8年7月 水生植物公園みずの森
オープン
平成8年10月 琵琶湖博物館オープン
平成9年9月 群馬県草津町と友好交流協定
締結
平成9年12月 総人口で県内第2の都市へ



第4次草津市総合計画

「パートナーシップで築く人と
環境にやさしい淡海に輝く
出会いの都市」

平成11(1999)～21(2009)年度

- (1) 未来を育む人間都市づくり
- (2) 安全で快適な環境都市づくり
- (3) 淡海に輝く活力都市づくり

～主な出来事～

- 平成11年9月 人口11万人突破
平成12年11月 草津駅地下道路開通
平成13年4月 なごみの郷オープン
平成14年7月 新草津川全川通水
市民交流プラザ・
南草津図書館開館
平成16年9月 芦浦観音寺が国史跡指定
平成17年3月 名神草津田上IC開通
平成20年2月 第2名神開通
平成21年5月 人口12万人突破



第5次草津市総合計画

「出会いが織りなすふるさと
“元気”と“うるおい”の
あるまち草津」

平成22(2010)～令和2(2020)年度

- (1) 「人」が輝くまちへ
- (2) 「安心」が得られるまちへ
- (3) 「心地よさ」が感じられるまちへ
- (4) 「活気」があふれるまちへ

～主な出来事～

- 平成23年3月 J R南草津駅新快速停車
平成24年4月 草津市自治体基本条例施行
平成26年8月 まちづくり協議会を認定
平成26年11月 福島県伊達市と友好交流
協定締結
平成27年9月 人口13万人突破
平成28年8月 健幸都市宣言
平成28年10月 アーバンデザインセンター
びわこくさつ(UDCB
K)開設
平成29年4月 草津川跡地公園
a i彩ひろば(区間2)
d e愛ひろば(区間5)
供用開始



第5次草津市総合計画について

【5】

第1期基本計画

平成22（2010）～24（2012）年度

主な施策展開

- 草津市自治体基本条例施行
- 市立幼稚園、小・中学校
全教室にエアコン設置
- JR南草津駅新快速停車
- みなくさまつり開始
- 草津市住民投票条例施行
- 草津市市民参加条例施行

第2期基本計画

平成25（2013）～28（2016）年度

主な施策展開

- まめバス本格運行開始
- 学校給食センター改築開設
- niwa+（ニワタス）オープン
- 大江霊仙寺線（川ノ下工区）
開通
- アーバンデザインセンター
びわこくさつ（UDCBK）開設
- 老上西小学校開校
- 草津市議会基本条例施行
- 草津市協働のまちづくり条例
施行
- 各まちづくり協議会を認定
- 草津市自転車の安全で安心
利用の促進に関する条例施行
- 健幸都市宣言

第3期基本計画

平成29（2017）～令和2（2020）年度

主な施策展開

- 草津川跡地公園「ai彩ひろば」
「de愛ひろば」供用開始
- ミナクサ☆ひろば開設
- 新クリーンセンター完成
- YMITアリーナ供用開始
- 北中西・栄町地区再開発事業
クロスアベニュー草津完成
- 草津市文化振興条例施行
- 草津市健全で持続可能な財政
運営および財政規律に関する
条例施行
- 草津市認知症があっても安心な
まちづくり条例施行

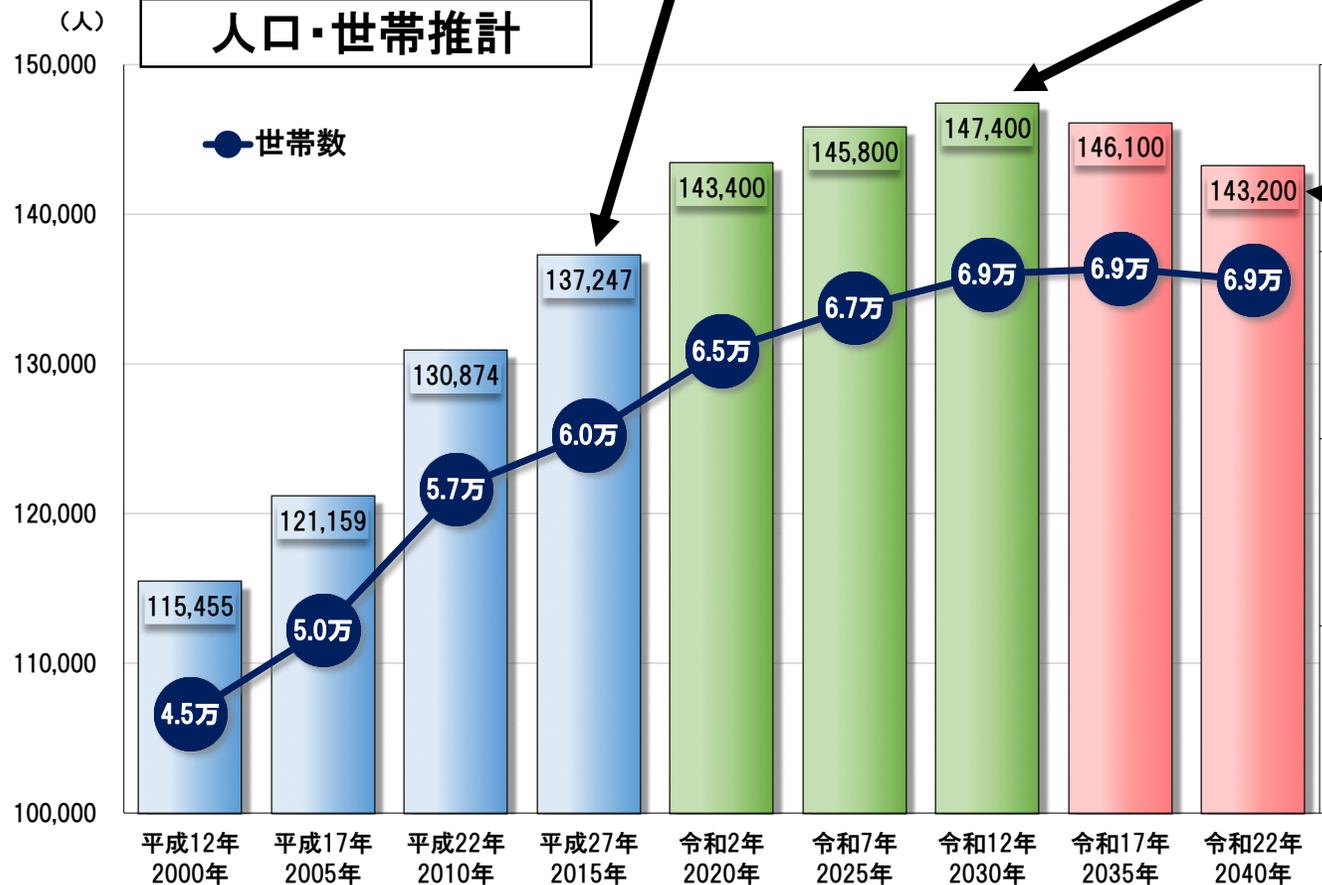
人口の見通し

本市の人口は、近年においても、人口増加傾向が続
き、平成27（2015）**137,247人**（国勢調査）となっ
ています。

本市の今後の推計では、依然継続して人口が増
加し、令和12（2030）年には**147,400人**程度に
達する見通しです。

しかし、その後は減少に転じ、令和22（2040）年
には**143,200人**程度になると見込まれます。

本計画期間（2021 - 2032年）において、
本市でもいよいよ**人口減少社会**
がはじまります。



社会情勢の変化

多様化・複雑化する諸課題

人口減少 少子高齢化

税収の減少

コミュニティの希薄化

異常気象・
大規模災害・
感染症の世界的大流行

社会資本の
老朽化

社会保障費
の増大

労働力(担い手)
の不足

etc

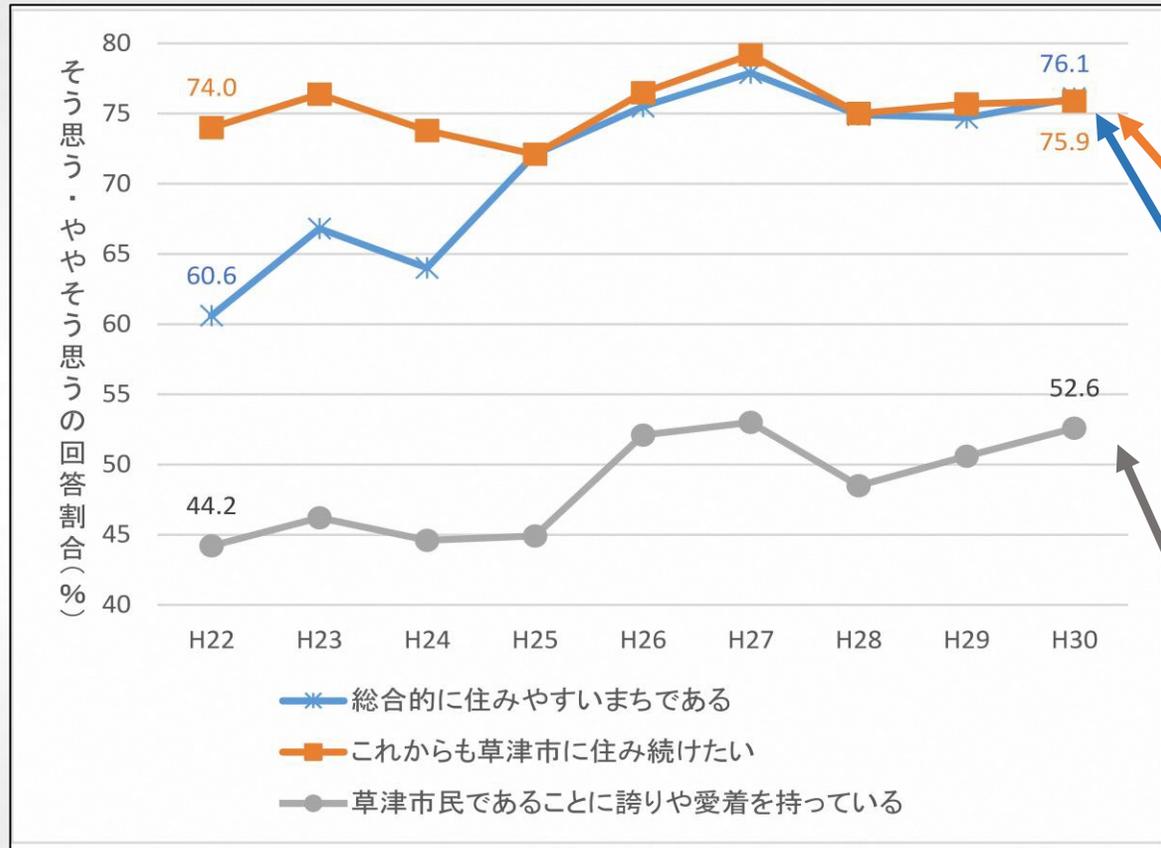


国を取り巻く社会情勢の急速な変化に伴い、本市を取り巻く状況も大きく変化していくことが予想されます。

第6次草津市総合計画の期間中には、本市においてもいよいよ人口減少局面を迎えることが予測されるとともに、生産年齢人口比率の低下や高齢化率の上昇が加速するなど、本市を取り巻く社会・経済・環境は目まぐるしく変化していく見通しです。

第6次草津市総合計画においては、このような諸課題にも柔軟かつ適切に対応するための取組を進めていく必要があります。

第5次総合計画における取組の評価について



「総合的に住みやすいまちである」

「これからも草津市に住みたい」

4人に3人の
市民の皆様
から
高い評価

「草津市民であることに誇りや
愛着を持っている」

住みよさと
比べると
低い割合



将来に描くまちの姿(各調査結果から)

【9】

【市民意識調査（将来の望ましい都市像）】

- 健康で元気に暮らせるまち
- 安全で安心して暮らせるまち
- 子育てサポートが充実しているまち

【高校生アンケート（将来の望ましい都市像）】

- すべての人にやさしいまち
- 趣味や娯楽、スポーツ活動が充実しているまち
- 教育環境が充実しているまち

【転入者アンケート調査（草津市に期待すること）】

- 住み心地の良い住環境の充実
- 医療・福祉サービスの充実



第6次草津市総合計画での方向性の検討



《視点1》
本市のもつ強みに一層
の磨きをかけていく

「これからのまちづくりの方向性として」

「“住みよさ”を維持」「さらなる発展」「課題へ果敢に挑戦」
「“つながり”を大切にしながら未来を一步ずつ切り拓く」

ありがとう



《視点2》
人と人とのつながりや思い
やりの醸成

ひと
- 人々のつながり -



《視点3》
ネットワークが充実したさら
に暮らしやすいまちづくり

まち
- 地域のつながり -



《視点4》
“誇りや愛着”の醸成

とき
- 時代のつながり -

将来に描くまちの姿

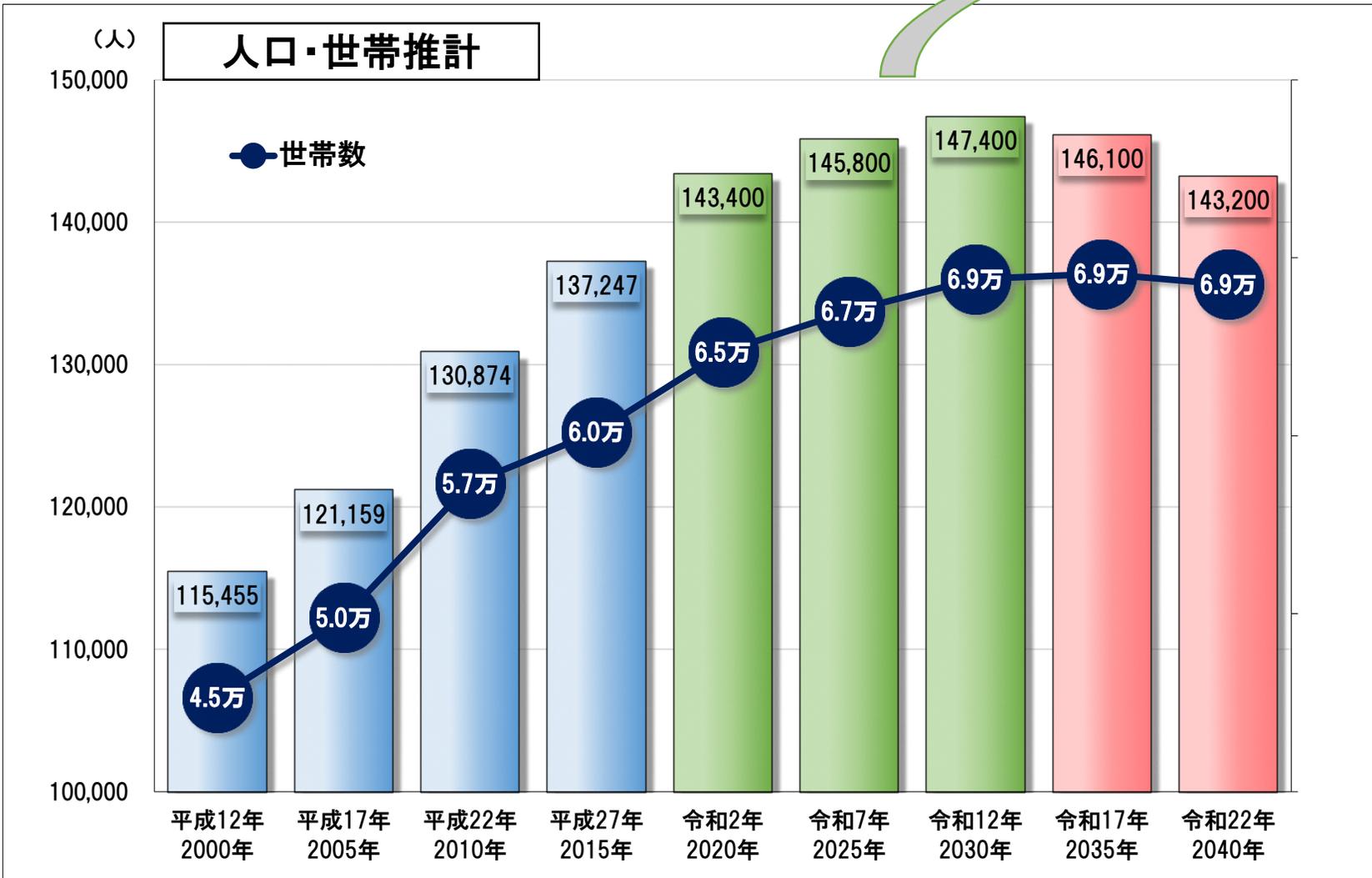


ひと・まち・ときをつなぐ

絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津



人口フレーム



想定する将来人口【人口フレーム】

人口 147,000人

人口フレームを見据えて、持続可能なまちづくりを進めていきます。



将来のまちの構造

【14】

まちのゾーン

まちなか・にぎわいゾーン
 丘陵・産業・交流ゾーン
 湖岸・農業・再生ゾーン

まちの拠点

にぎわい拠点
 学術・広域連携拠点
 観光レクリエーション拠点

まちの軸

まちなか環状軸・ひがし環状軸・にし環状軸
 湖岸レクリエーション軸
 みどり軸



まちづくりの基本目標

【15】

協働の視点

SDGsの視点



「こころ」 育むまち

人権

男女共同参画

学校教育

生涯学習・スポーツ

歴史・文化

「笑顔」 輝くまち

コミュニティ

地域福祉

健康

子ども・子育て・若者

長寿・介護

障害福祉

「暮らし」 支えるまち

防災

生活安心・防犯

環境

交通

道路

上下水道

「魅力」 あふれるまち

農林水産

商工観光

都市形成

公園・緑地

情報・交流

「未来」 への責任

行財政マネジメント